



政策イノベーション ～ガバナンスの新たなパラダイム～



我が国が少子高齢化に伴う先例の無い政策課題群への対応を迫られている中、世界経済の牽引役としての役割が期待されるASEAN諸国もまた、経済発展に伴い複雑化する政策課題への対応に追われています。

こうした状況を背景として、インドネシア、フィリピン、タイ、ベトナム及び日本の5ヶ国共同の試みとして、国や地域の課題解決力がどのような要素により規定されるかを2013年から研究してきました。とりわけ、従来の方法では解決困難な課題に対して新たな政策を機動的に創成する「政策イノベーション」のメカニズムの解明に、日本発の知識創造経営理論を手掛かりに、政治学・行政学と経営学の垣根を越えて取り組んできました。本フォーラムでは、各国の第一線の有識者が集い、この共同研究の成果を紹介するとともに、国や地方自治体の課題解決力を増進するための実践的な「知」を探ります。

登壇予定者

- ウティサン・タンチャイ** (タイ・プラジャディポック王学院長)
カイエターノ・パデランガ (フィリピン国家開発学院会長・前国家経済開発庁長官)
エコ・プラサジョ (インドネシア大学教授・前行政改革担当副大臣)
アレックス・ブリリヤンテス (フィリピン大統領府高等教育担当副大臣・行政学会長)
野中 郁次郎 (一橋大学名誉教授)
菊地 敦子 (公務人材開発協会代表理事・元人事院人材局長)
武居 丈二 (総務省自治大学校客員教授・元自治大学校長)
荻原 直紀 (アジア生産性機構(APO)調査企画部長)
畝 伊智朗 (国際協力機構(JICA) JICA研究所長)
高田 寛文 (政策研究大学院大学(GRIPS) 教授)

2015年 **3月27日(金)** 13:00～17:30

- 会場 ————— 政策研究大学院大学 1階 想海樓ホール
参加費 ————— 無料 (事前登録制)
言語 ————— 英語 (日本語同時通訳あり)
参加登録 ———— <https://gremind.grips.ac.jp/form/0006/asianforum2015/>
主催 ————— 国際協力機構 (JICA)・政策研究大学院大学 (GRIPS)
協力 ————— 一橋大学大学院国際企業戦略研究科

